

機構及び事務分掌

平成20年6月

会 計 室

会計室事務分掌

審 査 課

- (1) 有価証券（公有財産または基金に属するものを含む。以下同じ。）の出納及び保管に関する事。
- (2) 物品の出納及び保管（使用中の物品に係る保管を除く。以下同じ。）に関する事。
- (3) 財産の記録管理に関する事。
- (4) 支出負担行為の確認に関する事。
- (5) 支出命令の審査に関する事。
- (6) 収入証紙の出納及び保管に関する事。
- (7) 指定金融機関、指定代理金融機関及び収納代理金融機関に関する事。
- (8) 会計事務の改善に関する事。
- (9) 室の危機管理に関する事。
- (10) 室の庶務に関する事。
- (11) 他の課の主管に属しない事。

出 納 課

- (1) 現金（現金に代えて納付される証券及び基金に属する現金を含む。）の出納及び保管に関する事。
- (2) 小切手の振出しに関する事。
- (3) 現金の記録管理に関する事。
- (4) 決算の調製に関する事。
- (5) 支払資金の調整に関する事。
- (6) 証書類の整理及び保管に関する事。
- (7) 財務会計システムの管理及び運用に関する事。
- (8) 財務会計システムの開発に関する事。
- (9) 財務会計システムの研修に関する事。

平成 20 年度

予 算 説 明 書

会 計 室

目 次

	頁
平成20年度 一般会計歳入予算説明	1
平成20年度 一般会計歳出予算説明	2

平成20年度 一般会計歳入予算説明

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差引増△減	説 明	説明書 対照頁
22款 諸 収 入	千円 191,395	千円 96,736	千円 94,659		75
2項 市 預 金 利 子	56,800	17,000	39,800		75
1目 市 預 金 利 子	56,800	17,000	39,800		75
1節 預 金 利 子	56,800	17,000	39,800		75
3項 貸 付 金 元 利 収 入	30	30	0		75
1目 総務費貸付金元利収入	30	30	0		75
4節 収入証紙収納資金 貸付金元利収入	30	30	0		76
5項 雑 入	134,565	79,706	54,859		79
1目 総 務 費 雑 入	134,540	79,659	54,881		79
1節 広告料収入	851	945	△ 94		79
14節 共通物品振替収入	133,689	78,714	54,975		80
14目 雑 入	25	47	△ 22		86
2節 社会保険料納付金	25	47	△ 22		86
歳 入 合 計	191,395	96,736	94,659		

平成20年度 一般会計歳出予算説明

科 目	本年度予算額	前年度予算額	差引増△減	説 明	説明書 対照頁
2 款 総務費	千円 1,581,616	千円 1,774,609	千円 △ 192,993		106
4 項 会計管理費	1,581,616	1,774,609	△ 192,993	人件費	106
1 目 会計管理費	1,581,616	1,774,609	△ 192,993	854,274	106
				一般職 91人	
				短時間勤務職員 2人	
				公金取扱経費 304,889	
				財務会計システム 運用事業費 271,849	
				共通物品購入費 134,540	
				運営費 16,064	
歳 出 合 計	1,581,616	1,774,609	△ 192,993		

平成20年度

運 營 方 針

会 計 室

【基本目標】

1 会計室の運営と取り巻く状況

会計室は、市の会計事務を統括する会計管理者の補助組織として、現金、有価証券及び物品の出納・保管、決算の調製等を担当しています。

会計事務の執行にあたっては、法令等に基づき、適正かつ効率的に処理することが求められており、特に本市の会計処理の基盤である、「財務会計システム」の円滑な稼働と運用が重要となっています。

また、市民生活や社会経済情勢の変化等に伴う法令等の改正や制度改正に的確に対応していく必要があります。

さらに、本市公金の保管については、基本的な指針である「横浜市における資金管理方針」に基づき、安全性を最優先とした、適正な管理が求められています。サブプライム住宅ローン問題を背景とする米国経済の減速等の影響により、日本の経済金融情勢が微妙な状況の中、今後の金融政策・金融動向を見極めつつ、より機動的で柔軟な公金の運用が課題となっています。

そうした状況の中で、会計室は、市民生活や企業経営等の現実を見据え、「会計室人材育成ビジョン」で掲げる行動目標を実践し、効率的・効果的な会計事務を確立することにより、市民に信頼される行政運営を実現していく必要があります。

2 中長期的な展望

- (1) 市民に信頼される適正かつ効率的な会計事務の確立
 - 適正かつ効率的な会計事務と財務会計システムの円滑な稼働等の推進
- (2) 安全性を最優先とした効率的な資金管理と金融情勢の変化への適切な対応
 - 資金収支の的確な把握及び市場の金利動向・運用先金融機関の経営状況を踏まえた公金の適切な管理

3 平成20年度の重点推進施策

- (1) 適正かつ効率的な会計事務の推進
 - ア 会計事務の適正かつ公正な執行のための支援
 - イ 財務会計システムの円滑な稼働の確保と使いやすさの向上
 - ウ 現金の出納保管業務の業務改善・環境整備の支援
- (2) 市民に信頼される支払事務の推進
 - ア 支払の遅延防止に向けた取組の効果的な運用
 - イ 口座振替不能件数の削減
- (3) 資金の効率的な管理・運用
 - 効率的な資金管理及び金融情勢に対応した資金運用

【重点推進施策実現に向けた具体的取組】

1 適正かつ効率的な会計事務の推進

- (1) 会計事務の適正かつ公正な執行のための支援
区局に対する研修の実施や経理事務に関する情報の提供とともに、適正な検査・指導に取り組みます。
- (2) 財務会計システムの円滑な稼働の確保と使いやすさの向上
引き続きシステムの改善を進め、円滑な稼働と使いやすさの向上を図るとともに、新たに発生する他システムとの連携処理を適正に行うなど、システム障害の発生を予防します。
- (3) 現金の出納保管業務の業務改善・環境整備の支援
各所属での現金の出納保管に係る業務改善及び環境整備の取組みが適正かつ積極的に行われるよう、関係局と協力して適切な情報提供を行っていきます。

2 市民に信頼される支払事務の推進

- (1) 支払の遅延防止に向けた取組の効果的な運用
債権者に対する支払が遅延することがないように、事務処理の適正化を図ります。
- (2) 口座振替不能件数の削減
YCANや研修などにより周知等の取組みを進め、さらなる口座振替の不能件数を削減します。

3 資金の効率的な管理・運用

- 効率的な資金管理及び金融情勢に対応した資金運用
市全体の資金状況が厳しい中、収支見込みのさらなる精度向上による効率的な資金管理を行います。
また、「資金管理方針」に基づき安全性を最優先としつつ、支払資金については流動性預金で保管し、余裕資金については効率性も考慮して健全性の高い金融機関への預金及び公共債により運用します。
金融情勢の変化等に応じた方針等の見直しも適宜行います。